

# アンドレを探す

矢島勝昭

「・・・先生と私は通へ出ようとして墓の間を抜けた。依撒伯拉（イザベラ）何々の墓だの、神僕ロギンの墓だの・・・全権公使何々というものもあった。私は「安得烈」と彫り付けた小さい墓の前で「これは何と読むんでしょう」と先生に聞いた。「アンドレとでも読ませる積りでしょね」と云って先生は苦笑した」。夏目漱石「こころ」の一節です。小説の「先生」は例月その日になると雑司が谷の墓地にある或る仏へ花を手向けに行く習慣なのだ。

仔犬と墓地を散歩中、筆者はふと「こころ」の中の一文を思い出した。小説の風景を追う様にケヤキ並木の路からそれてさらに奥へ進んでいった。洗礼名を刻んだ墓が其処比処にある。普段と違うコースを怪しんでか、なかなか歩かない仔犬を引っ張って墓石名を覗いて歩いた。小説の中のロギンやイザベラなどあるはずは無い、そう思いながらも鬱蒼とした樹木に陽を遮られた墓の間を何度か巡って、やはり徒労だったと感じたとき、草むらから首を出した一つの墓石が筆者に語りかけた。そこは霊園の最も西寄り、囚人墓地との境だった。胸の高さくらいの墓石の銘は「神僕・安德烈之墓」と読めた。小説の方は「安得烈」で一字違いが、草を押し退けると明治四十一年一月二十八日永眠とあり、漱石がこの墓石に出会ったとしても矛盾はない。

墓には囲いも飾りも無く、かわりに丈高い雑草が取り巻いていた。胸が波騒いだ。それにしても何故一文字違うのだろうか、漱石は見ず知らずの墓主を敬恭して一文字違えて書いたのだろうか、そうに違いない。筆者は勝手に納得して、傍らの赤いミズヒキを数本抜いて湿った墓石に手向けた。

漱石自身の墓もこの霊園にあって、何人かの知人に囲まれている。尊敬するフォン・ケーベル、門下生の森田草平や大塚楠緒子などがそれである。

明るい路に戻り、帰り際に霊園管理事務所へ寄った。「安德烈」の墓のことは所長のEさんも知らなかった。「無縁仏になったとしてもこの墓石を撤去しないで置いて下さい」と頼んだ。十年間管理料不払いの墓は整理されてしまうからだ。

仔犬が吠えたので茶を干した。外は秋空だった。「もう少しすると、奇麗ですよ、この木がすっかり黄葉して、ここいらの地面は金色の落葉で埋まるようになります」と小説の中の「先生」も云っていた。

●お詫び  
「ぞうしがやまちづくりニュース45号 熊さんご隠居さんの雑司が谷談義」において、多数の誤記のあったことを、読者並びに執筆者の矢島氏にお詫び申し上げます。 編集部

## 平成9年度 建替え相談所の日程

今年度の、建替え相談所の日程は次のとおりです。  
どうぞご利用ください。

なお、街づくり公社では随時、建替え相談を行っておりますので、この日程でご都合の悪い方は直接、街づくり公社においでいただくか、ご連絡をください。

**月日**  
平成9年10月17日（金）  
平成10年2月20日（金）

**時間**  
午後1時～4時まで受付

**場所**  
雑司が谷区民集会室

# 46

1997・10

- 企画・発行  
雑司が谷地区まちづくり協議会  
財団法人 豊島区街づくり公社  
☎3981-1111（内）2883 / 房野・根岸  
豊島区都市整備部地域整備課  
☎3980-1111（内）2862 / 黒岩・那須
- 編集協力  
（財）都市防災研究所  
☎5706-6031 / 小野・曾田

## 新協議会 発足

新しい協議会が名前も新たに発足しました。この協議会は第3次の協議会となります。新しい協議会が挑むのは、雑司が谷地区の新しいまちづくり。雑司が谷地区でこれから起こるさまざまな動きをとらえて、住民の立場で考え、意見を述べ、提案を行います。

## ごあいさつ

雑司が谷地区まちづくり協議会  
会長 伊藤 博

このたび図らずも、雑司が谷地区まちづくり協議会の会長を仰せつかりました。これまで柳下綱道さんや内山富雄さんという大先輩に導かれ協議会委員を努めてまいりましたが、今自分がその立場になり、責任の重さに身が引き締まる思いです。

雑司が谷地区のまちづくりは、すでに13年間の歴史を刻んでおります。その間にまちづくりの成果としていくつかの足跡を残すことができましたが、一方、インナーリンクを始めとして、いまだ実現できないものも数多くあります。そして今、地区は大きく変わろうとしています。そのような大切な時に、協議会会長としてどのような貢献ができるかははなはだ心細い限りです。幸いにも経験も若さもある方々が副会長に、そして柳下、内山両会長経験者が相談役についてくださいました。私は非力ですが、このような多くの方々の力をお借りしながら、また、地域のみなさんのご協力を頂きながら、この地区のまちづくりに取り組んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

